

どんなまちにしよう。
どんな未来にしよう。
文化芸術で、
可能性を無限にする。

IWATE ARTS SUPPORT CENTER

〔2023〕

年次報告

Annual Report

NPO法人

いわてアートサポートセンター



IWATE
ARTS
SUPPORT
CENTER

NPO法人いわてアートサポートセンター

〒020-0874 岩手県盛岡市南大通一丁目 15-7 盛岡南大通ビル 3 階

TEL.019-656-8145 / FAX.019-656-8146

文化と芸術で

可能性を
支えていく

We support the growth of local potential
through a creative approach

PRODUCE

CULTURAL CENTER
FORMATION

LAB

RESEARCH

ART

IWATE

アートは、共に生きるための可能性。
私達は社会と文化芸術をつなぎ、
創造的な視点で地域の可能性を育む
そんな活動に取り組んでいます。

3つのとりくみ

□ アートでつなぐ
Research/Lab

□ アートをうみだす
Produce

□ 地域の生活にねづく
Cultural Center formation

TRADITION

ACHIEVEMENTS

2023年度の活動

県内33市町村のうち**23**市町村で4つの文化施設を中心に**192**回のアートプロジェクトを実施し、**242,742**人が参加・来場しました。うち、岩手県内の子ども向けプロジェクトは**57**回、参加者は**10,140**人でした。



アートでつなぐ

対象：アーティスト、
伝統系の人たち、子ども

●さまざまなアーティストが岩手県に滞在し、作品をつくる「アーティスト・イン・レジデンス事業」を実施しています。2023年度は、

約 **16** 人のアーティストが

約 **170** 日岩手県に滞在し、
さまざまなイベントを開催。

約 **2,200** 人が鑑賞や
交流をしました。



●地域や国や世代をこえた交流、パフォーマンス、盛岡芸妓の育成などのイベントを開催。岩手県を中心に伝統芸能に関わる

約 **600** 人が参加し、

約 **25,600** 人が鑑賞に
訪れました。

伝統と現在をつなぎ、さらには地域の持つ独自のブランドの掘り起こしにも繋がっています。

●子ども向けのイベントも積極的に実施し、茶道・日本画・郷土料理など**伝統や地域文化**に触れる機会を

年間約 **200** 回ほど創出
しています。



アートをつくる

対象：伝統系、地域間交流

●盛岡市の歴史的建造物を活用した芸術祭や、観光資源×芸術のイベントなど、各種イベントを開催し、

約 **9,400** 人が訪れました。

地域の生活にねづく

対象：地域の人、子ども

●岩手の文化の拠点となる場所を運営しており、2023年度の利用者は「もりおか町家物語館」にて

約 **70,500** 名

「風のスタジオ」にて

約 **4,000** 名

●紫波町、奥州市、一関市、二戸市、野田村などで、**地域の文化資源**を生かしたアートプロジェクト・イベントなどの開催をサポートし、

約 **1,600** 人が訪れました。

岩手県内を中心とした、地域間交流の場となっています。



また「宮古市民文化会館」では**市内すべての小中高生に劇場体験**を届けるほか、通年で取り組める演劇部や弦楽合奏部を運営しており、利用者は市の人口の**約77%にあたる**

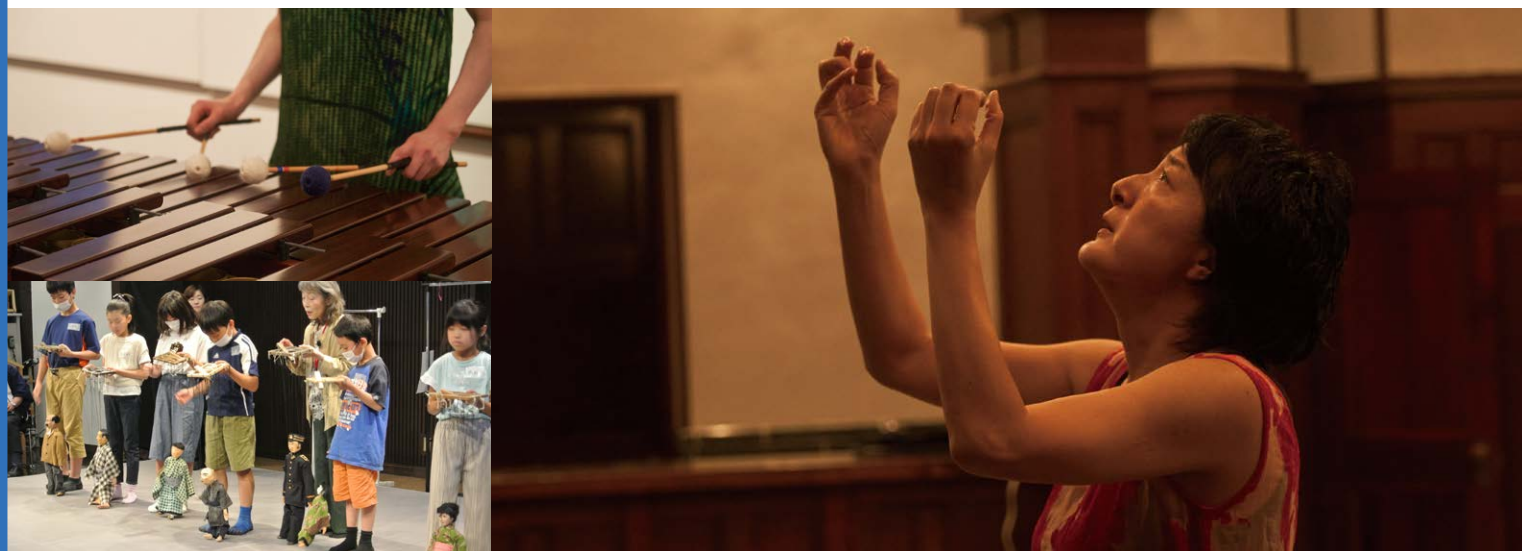
約 **39,600** 名が
体験しました。

●子どもを中心とした**コミュニティカンパニー**を運営しています。2023年度は新たに

2 つの団体を
発足しました。現在、合計 **5** つの団体を
育成しています。



※来場人数はのべ数です。





PICKUP REPORT 実施した各事業の紹介

EVENT
#01

MORIOKA ARTS TRAVERSE
(モリオカ・アーツ・トラヴァース)

もりおか舞台周遊芸術祭

JAPAN LIVE YELL project
アーツライブいわて 2023

2023年11月23日～26日



4つの歴史的建造物を巡り、作品鑑賞などをおこなう芸術祭を3日にわたり開催しました。

「岩手銀行赤レンガ館」ではコンテンポラリーダンス、「旧石井県令邸」では演劇やデジタルインスタレーション、「岩手県公会堂」や「もりおか啄木・賢治青春館」ではクラシック音楽や現代音楽など、様々なジャンルのパフォーマンス公演を実施。そのほか、盛岡の街を巡ってカードを集めるイベントなどもあり、市内を周遊しながら楽しめる舞台芸術祭です。

アーティストが岩手県に滞在して創作した作品や、この芸術祭のためのスペシャルな作品も多数上演しました。県外からも観客が訪れ、作品だけでなく、盛岡の歴史の旅を楽しんでいました。



「ベートーヴェンを踊る」



ト(リ)リップ ～旧石井県令邸編～ 村田青葉 作・演出



岩手出身の若手音楽家コラボレーション「いわての＜四季＞」 Vn.町田匡

EVENT
#02

三陸国際芸術祭

2023年9月～2024年3月

東日本大震災を機に2014年に始まった芸術祭です。国内外のアーティストと三陸の郷土芸能の担い手が交流し、芸能の宝庫である三陸の魅力を伝えます。

2023年度は9月23・24日に岩手県野田村にて、郷土芸能の若き担い手の交流や、7団体による郷土芸能の野外パフォーマンスなどがおこなわれました。さらに10月には大船渡にて3日間で三陸7団体、インドネシア1団体が舞うなど、三陸の熱気あふれる秋の季節を中心に、約半年を通して三陸各地で様々なイベントを紹介しました。



三陸芸能祭 大槌まつり



三陸のだむら未来芸能祭

EVENT
#03

劇場演劇部

2023年5月・7月～8月



宮古市には高校演劇部がありません。けれどもひと夏だけ、演劇部が宮古市民文化会館にて活動します。市内外の演劇をやりたい高校生が学年・学校を超えて集まる部活動です。

2023年度の部員は2人だけ。初対面の高校生2人が、岩手県外から訪れたプロのアーティストら演出家とともに、会館職員の指導のもと本格的な舞台づくりに挑みました。3週間の稽古を経て、8月11日に宮古市民文化会館で、13日に盛岡市の風のスタジオにて「遠い君ほどわたしから遠ざかる速度が速い」という作品を上演しました。



劇場演劇部「遠い君ほどわたしから遠ざかる速度が速い」

EVENT
#04

地域の暮らしをつむぐイベント

2023年10・11月



ヘンバイバライ



ひづめ百年文化祭

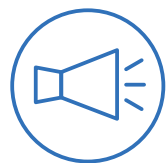


馬喰町バンドLIVE

そのほか、コンサート、朗読、伝統芸能教室、美術展、映画祭、観光イベントなどさまざまな取り組みを実施。年間のべ 1500 回以上の企画・イベントを開催しています。



(左から)
朗読劇『盛岡ノート』
子ども文化室(和太鼓教室)
着物deもりおか街歩き体験



VOICE 利用者の声

VOICE
01

滞在先
宮古市

私道かびさん(作家・演出家)

市民の声を聞きながら短編戯曲を製作し、発表

「下は小学生から上は93歳までと、滞在中に色々な人に会うことができた。幸運なことに、道端で初対面の方と会って話し込むことも数回あった。発表の時には、岩手県内外から予想よりもたくさんの人に来ていただいた。今回は積極的に聞けなかったこともあり、震災当日のことを書き残すのは、これから先の課題だなと思う。いつか震災のことを口にできる人が増えるまで、長いスパンで宮古との関わりを続けていきたいと思っている」

“長いスパンで
宮古との関わりを
続けていきたい”



VOICE
02

滞在先
宮古市

横山彰乃さん(ダンサー・振付家)

市民の生活、文化、郷土芸能などをリサーチし、ダンス作品を創作・発表

「いろんな方から今と昔の宮古の話を聞き、知らない街での暮らしを想像し、でも観光で訪れているのとは違う感覚になる。かつての日常や出来事を、語りや踊り、音楽にしたものが民話や神楽の民俗芸能としてあることを肌で実感した。インターネットで見ていた定説と、地元の人たちが話すそれらにギャップがあった。人から人へ語り継ぐことの面白さに気づかせてもらった。踊りが決して特別な人だけのものではない、暮らしの中にあるものだと思わせてもらった。機会があれば、宮古の岩肌ともしっかり踊りたい」



“語り継ぐことの
面白さに気づかせて
もらった”

VOICE
03

滞在先
田野畑村

佐藤公哉さん(音楽家・作曲家・歌手)

神楽や地域の魅力を学び、芸能団体とともにライブ公演を実施



“創作にまたとない
大きなヒントを
いただきました”

「三陸の郷土芸能との関わりは僕の創作にとってとても大きなウェイトを占めています。田野畑村の様々なスポット巡りや、大宮神楽の稽古を経て、2月のイベントでは芸能の担い手の方とコラボレーションが実現したことは、今回一番嬉しかったことです。大宮神楽さんの舞と囃子から、僕の創作にまたとない大きなヒントをいただくことができました。ぜひこのご縁を大切に、田野畑の地での稽古、クリエイション、公演を続けて行けたらと思っています」

VOICE
04

体験先
盛岡市

大谷ちひろさん

芸術文化観光専門職大学3年生の秋、もりおか周遊舞台芸術祭を訪ねる

“新しい盛岡の姿を
見たようでした”



「子どもの頃から馴染みのあった盛岡ですが、歴史的建造物に足を運ぶこともそれほどなく、そのなかで作品を観るのも初めてでした。赤レンガ館や旧石井県令邸、もりおか啄木・賢治青春館での作品鑑賞には県外からの人も訪れていたようで、私も、新しい盛岡の姿を見たようでした。その時に、アートサポートセンターの方に、イベントや建物のお話をしていただいた時のことがとても印象的でした」

VOICE
05

体験先
宮古・盛岡市

山岸聖恋さん

高校二年生の夏、劇場演劇部に参加

「劇場演劇部は“社会の中での部活”だというふうにとらえられるかなと思います。大人の方々とのコミュニケーションをとって、普段は出会わない初対面の人と輪を広げるひとつの手段や機会なのかなと思っています」



VOICE
06

体験先
宮古・盛岡市

藤原萌衣さん

高校一年生の夏、劇場演劇部に参加

「劇場演劇部に参加しなかったら、夏休みは絶対にずっと家で寝てた。こうやって活動できたこと自体が自分にとっての成長になるし、演劇を通してひとつの物語に触れたことで、自分の視野、見方、考え方は全部変わったように思えたので、すごい貴重な経験をさせていただいた」



FACILITIES 施設紹介

事業の拠点となる指定管理施設と直営施設の運営を行っています。

もりおか町家物語館 指定管理施設

盛岡町家のまち並みに建つ観光・市井文化発信拠点

「懐かしの賑わいに出会う」をコンセプトに酒蔵をリノベーションして開館。明治、大正、昭和に建てられた酒蔵、町家、蔵をリノベーションした施設。酒蔵だったホールやショップ・カフェ、明治35年築の町家で時空(とき)を超えた安らぎをご体験下さい。

〒020-0827 岩手県盛岡市鉾屋町10-8
TEL.019-654-2911 / FAX.019-654-2913
開館時間 9:00-19:00(最終入場18:30)
休館日 第4火曜・年末年始(12/29-1/3)
<https://machiya.iwate-arts.jp>



宮古市民文化会館 指定管理施設

市民とアーティストが交わる拠点として

2011年の東日本大震災津波の影響で閉館するも約4年後の2014年12月に再開。市民のつながりを取り戻すコミュニティシアターとしての役割を軸に、現代のアーティスト・郷土芸能団体、地域団体をパートナーに多彩なシアタープロジェクトや劇場を舞台としたアウトリーチ事業を行っています。

〒027-0023 岩手県宮古市磯鶏沖2-22
TEL.0193-63-2511 / FAX.0193-64-5445
開館時間 9:00-17:00(月曜休館)
<https://iwate-arts-miyako.jp>

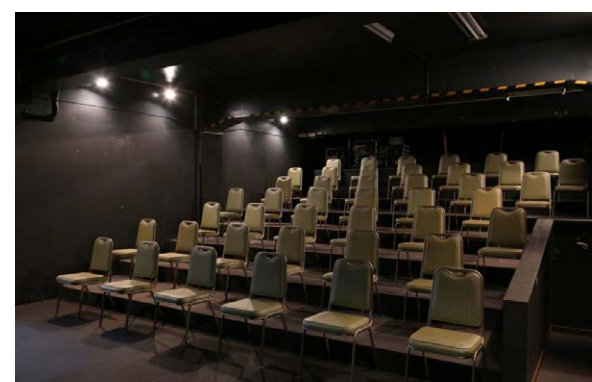


風のスタジオ 直営施設

自由な挑戦を支える小劇場として

中心市街地の活性化を図るために設けられた新たなアート拠点空間です。約100人収容の小劇場『風のスタジオ』、鏡張りの多目的スペース『リハーサル室』、会議やスタジオの楽屋としても使用できる『ミーティングルーム』の3施設の貸館利用に加え、若い才能を応援する自主事業、提携公演を行っています。

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階
TEL.019-604-9020 / FAX.019-604-9021
<https://kaze.iwate-arts.jp>



2024年度4月1日～

もりおか啄木・賢治青春館 指定管理施設

盛岡の暮らしと文化芸術の息づく場として

明治期に竣工した旧第九十銀行本店本館を保存活用し、石川啄木と宮沢賢治が青春を育んだ盛岡のまちと二人について紹介します。国の重要文化財となる本館では、常設展やカフェのほか、石川啄木と宮沢賢治、盛岡のまち・暮らしをテーマにした企画展やイベントなどを行い、広く盛岡の魅力を届けます。

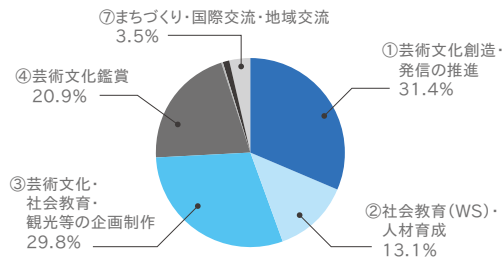
〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-25
TEL.019-604-8900 / FAX.019-604-8900
開館時間 10:00-18:00(最終入館17:30) 休館日 第2火曜・年末年始(12/29-1/3)
<https://seishunkan.jp/>



BUSINESS INITIATIVES 事業のとりくみ

事業実施は、いわてアートサポートセンター(IASC)の事務所及び文化施設の管理運営を行う盛岡市、宮古市を拠点とし、大船渡市、北上市、久慈市、一関市、二戸市、奥州市、紫波町、野田村など岩手全域にかけて様々なプロジェクトを定期的・継続的に実施し、地域に根差した場づくりを試みています。各地域の文化や伝統を守りながらも、新たな挑戦を支えることで、地域の活性化を図っています。2023年度は、下記の事業を実施しました。

● 実施ジャンル



盛岡市や宮古市をはじめとした文化の拠点形成(⑤)をしながら、芸術による未来づくりへの貢献をしています。芸術に触れる機会を創出することはもちろん(①④⑥)、具体的な人材育成(②)にも力を入れており、さらにそれらによる社会・観光・交流・まちづくりなど(③⑦)、地域が豊かに育っていく土壌づくりに力を入れています。

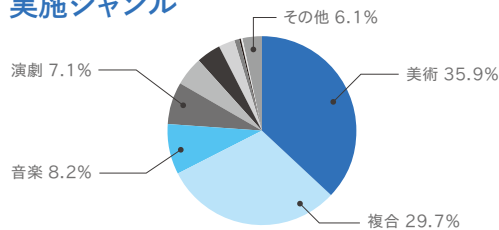
● 対象

対象	対象人数
一般	597,967
子ども等	9,895
アーティスト	25
行政職員・教職員等	30
その他、芸術関係者(国内外)等	38

(延べ)

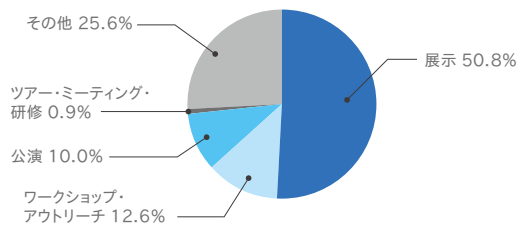
年間約1万人の子どもたちに文化や地域の伝統に触れる機会を提供し、未来の担い手づくりに力を入れています。あわせて子どもに寄り添う教員に向けた企画のほか、国内外の芸術従事者に東北の芸能を紹介するなど、地域コーディネートや移住促進の役割も担っています。特に宮古市では全小中高生に芸術鑑賞や体験の機会を提供しています。また、県外からアーティストが訪れ、創作等を行うアーティスト・イン・レジデンスにも注力しており、2023年度はダンス・音楽・演劇などを各専門とする16名のアーティストが滞在制作(延べ170日)をおこないました。

● 実施ジャンル



「音楽」ではクラシック音楽のコンサートや育成事業のほか、和太鼓等の演奏や体験なども実施しました。「演劇」では公演事業のみならず、通年でのジュニア劇団の活動や、高校演劇部のない町に夏限定の演劇部を作るなど、コミュニティづくりの一助となっています。「ダンス」では劇場での上演にとどまらず、歴史的文化施設などユニークベニュー等でも上演され、地域の魅力を引き出す取り組みがおこなわれました。「芸能」には伝統文化や郷土芸能にまつわる発表・ツアー・まつり・ラジオ配信などのイベントや、盛岡芸妓のお座敷体験なども含まれます。「生活文化」では市民の華道・書道・将棋など幅広い文化をサポートしました。「その他」については16名のアーティストによる滞在制作(延べ170日間)や歴史的施設を活用した日本酒等のイベントも含まれます。

● イベント種別



イベント種別	実施回数
展示	600
ワークショップ・アウトリーチ	149
公演	118
ツアー・ミーティング・研修	11
その他(交流、イベント ほか)	302

(延べ)

「ワークショップ」には、定期的に開催した体験教室も多く含まれます。これは、継続的に小規模に実施することで、文化芸術の日常への浸透やそれらによる育成・まちづくり・ネットワークづくりの効果を目的のひとつとしています。「展示」は盛岡市所蔵美術品展の開催など、地域の文化・芸術に触れる機会を創出しています。

特定非営利活動に係る事業の実施について

★ = 芸術文化創造・発信の推進

👤 = 社会教育・人材育成

💬 = 芸術文化・社会教育・観光等の企画制作

💜 = 芸術文化鑑賞

🏠 = 施設管理運営・評価・指導

🔍 = 調査研究・教育普及

🌐 = まちづくり・国際交流・地域交流

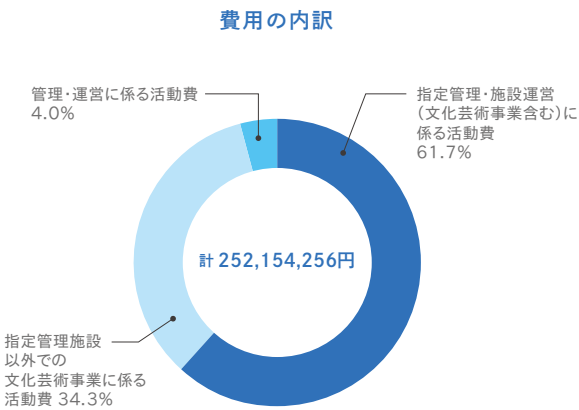
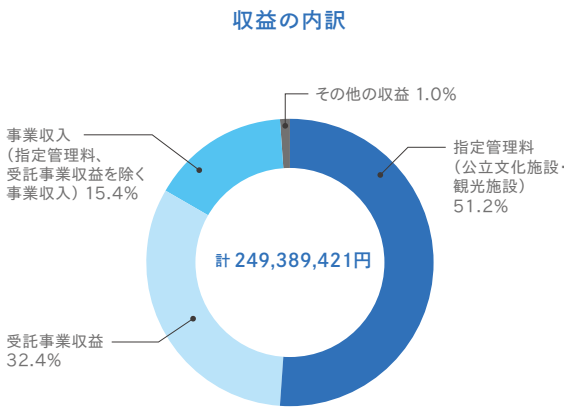
👥 = その他 法人事業に付随する事業

★ = 主に該当する箇所

☆ = 該当する箇所

	具体的な事業内容		実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者	受益者人数	事業費(千円)
	事業名	内容						
★👤💬🔍🌐	もりおか町家物語館事業	美術展・彫刻展、お化け屋敷、ワークショップ、ブックマーケット等の開催や喫茶・グッズ販売するほか、ホールにて、クラシックコンサート、演芸会、朗読劇、伝統芸能等の公演。お茶・弦楽器・伝統文化等の各種体験講座。	通年 体験 7 コマ 公演 4 ステージ 展示 のべ 562 日間	盛岡	7	一般	73,933	18,430
★👤💬🔍🌐	宮古市民文化会館事業	演劇・ダンス・音楽の公演のほか、市民文化祭・芸能まつり・郷土芸能祭等を開催。市内の全小中高生が参加する団体鑑賞、子ども劇団やジュニア弦楽団の運営。アウトリーチ事業やアーティスト・イン・レジデンス事業も実施。	通年 体験 81 コマ 公演 38 ステージ 展示 のべ 63 日間	宮古	7	一般	10,366	16,885
👤💬💜★	風のスタジオ事業	施設を拠点とした演劇作品・舞台作品を製作。県内でのツアー公演なども実施。またプロダンサーによる身体ワークショップを通年で実施。	通年 公演 2 ステージ 体験 48 コマ	久慈盛岡	7	一般	277	2,313
👤★💜	子供たちの伝統文化の広場づくり事業	盛岡広域圏および県北地域に伝統文化の講師を派遣し、子どもの体験機会を提供。子どもの伝統文化教室および成果発表会、伝統文化の1日体験会、教員を対象とした伝統文化体験教室を実施。	7月～2月 体験 60 コマ 公演 1 ステージ 展示 4 日間	二戸盛岡広域	6	子供教員	2,996	11,263
👤★💜	子供たちの芸術・伝統文化体験事業	盛岡市内の子供を対象とした芸術文化3分野(彫塑・歌唱・ピアノ)の体験教室および成果発表会を実施。	8月～11月 体験 15 コマ 公演 2 ステージ 展示 4 日間	盛岡	6	子供	1,227	1,058
💬💜🌐★👤🏠	観光再始動事業	盛岡の歴史的建造物や街並みを活用した伝統文化・食文化の各種体験事業やジャズライブ、盛岡をテーマにした朗読公演の企画制作、昭和をテーマにした企画展の開催、盛岡を描いた書籍の増刷・販売。	7月～10月 体験 21 コマ 公演 13 ステージ 体験・展示 82 日間	盛岡	12	一般	8,295	6,970
★👤💬💜🏠	JAPAN LIVE YELL Project アーツライブ いわて 2023	県内の市町村や地域団体と連携した演劇公演・映画イベント、ワークショップ等の開催。アーティスト・イン・レジデンス事業や、歴史的建造物を活用した舞台芸術祭の開催。アート情報のラジオ番組制作や、郷土芸能番組のWEB配信。	8月～3月 公演 25 ステージ 催事・展示 13 日間 体験 8 コマ 放送・配信 55 回	盛岡宮古一関二戸奥州紫波町野田村	14	一般	4,543	37,732
★👤💬💜🏠	三陸国際芸術推進委員会事業	三陸の郷土芸能祭催事等の海外発信、芸能団体のショーケース、次世代育成事業を開催。MICE及び国際観光へ向けたモデルツアー等を企画運営。郷土芸能体験を特徴としたアーティスト・イン・レジデンス事業等を実施。	6月～3月 催事 425 日 体験 4 コマ	宮古大船渡野田村ほか沿岸地域	4	子供一般	25,463	9,326
👤★💬💜	いわて文化振興プロジェクト	舞台芸術の専門的講座開催、子ども劇団の遠征公演、江戸糸あやつり人形や和太鼓の子ども文化部の結成・運営、岩手出身の若手音楽家をソリストに迎えたクラシックコンサートの実施。	12月～3月 公演 2 ステージ 体験 10 コマ	盛岡	6	一般	389	1,640
🔍👤🏠	盛岡広域圏・沿岸広域圏文化芸術コーディネーター	岩手県が設置する文化芸術コーディネーターとして県内の文化芸術活動にかかる相談業務および県央・沿岸地域にて文化芸術活動を支援するネットワーク会議の開催。	通年 相談 391 件 会議 4 回	県内全域	4	一般	464	47
💬💜🏠★👤	その他文化イベント企画制作事業	いわてフィルハーモニー・オーケストラ演奏会の制作。岩手芸術祭 映像上映会の企画運営。盛岡芸妓と市民との交流・鑑賞体験事業の開催。寺山修司演劇祭運営および公演の企画制作。	6月～2月 公演 7 ステージ 体験 8 コマ	盛岡北上田野畑村	10	一般	565	4,378
🏠	施設管理及び貸館事業	「もりおか町家物語館」の指定管理運営業務(貸館事業含む)	通年	盛岡	10	一般	70,580	40,503
		「宮古市民文化会館」の指定管理運営業務(貸館事業含む)		宮古	8		39,608	85,040
		「風のスタジオ等」の運営・貸館事業		盛岡	8		4,036	7,521

(単位：千円)				
活動計算書 2023.4.1～2024.3.31		金 額		
科 目		特定非営利活動に 係る事業	その他の事業	合 計
Ⅰ 経常 収益	1.受取会費	218		218
	2.受取寄付金	0		0
	3.受取助成金等	4,127		4,127
	4.事業収益	227,351	15,340	242,690
	5.その他収益	2,354		2,354
	経常収益計	234,050	15,340	249,389
Ⅱ 経常 費用	1.事業費			
	(1)人件費	87,450	4,289	91,739
	(2)その他経費	138,901	10,976	149,877
	事業費計	226,351	15,265	241,616
	2.管理費			
	(1)人件費	3,132		3,132
	(2)その他経費	7,406		7,406
	管理費計	10,538	0	10,538
	経常費用計	236,889	15,265	252,154
	税引前当期正味財産増減額	△ 2,839	75	△ 2,765
	法人税、住民税及び事業税			132
	当期正味財産増減額			△ 2,897
	前期繰越正味財産額			11,755
次期繰越正味財産額				8,858



2023年度(令和5年度)は、新型コロナウイルス5類移行により、コロナ禍での厳しい活動制限から、地域の文化芸術活動に復活の兆しが見られ始めました。しかしなおコロナ禍前の水準には回復していません。また、急速な物価高の影響が続くなか、地域文化の担い手や子どもたちを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

こうした社会情勢を背景に、盛岡市や宮古市などにおける指定管理施設の運営や、文化庁助成事業(アートキャラバン、伝統文化体験)を岩手県各地で展開するとともに、盛岡芸妓の育成や沿岸地域での民俗芸能催事のサポートなど、多岐にわたる活動を実施しました。アーティストインレジデンスでは16名の県外在住アーティストがのべ約170日間滞在し、2,240名を超える住民との交流を実現。子どもたちに対して202回の芸術鑑賞や体験の機会を提供し、のべ9,906名が参加しています。また、当法人全体での文化芸術体験の提供人数は242,742名に達し、県内23市町村で事業を展開することで、多くの地域で芸術文化の魅力を共有する機会を創出しました。こうした取り組みに伴い、今年度の経常費用は約2億5,200万円となり、前年度と比較して小幅ながら増加しています。結果として当期正味財産はわずかに減少したものの、流動資産が流動負債を上回るなど短期的な資金繰りへの大きな懸念はありません。

2024年度(令和6年度)も継続した活動を行うにあたって、会費や寄付、助成金など多様な財源の確保と、行政・企業との協働による支援体制の強化が不可欠となるでしょう。わたしたちは、今後も地域独自の文化資源を活かし、地域文化の推進と文化芸術による地域の活性化・コミュニティづくりに寄与してまいります。



地域社会と子どもたちを創造的な活動で育む
サポートを一緒にしませんか？

いわてアートサポートセンター(IASC)の活動を応援してくださる個人・法人の会員を募集しています。

正会員

NPO法人としての趣旨を理解し、主体的・積極的に活動に参加する個人・法人

- 総会議決権 あり
 - 会費など
 - ・入会金
個人5,000円 / 団体10,000円
 - ・年会費
個人5,000円 / 団体10,000円
 - 期間 1年間(4月1日～翌年3月31日)
- 会員特典

 - ・当法人が発行する通信等をお届けします
 - ・自主企画公演チケット優先予約&入場料10%割引(お一人様2枚まで)
 - ・主催講座・ワークショップの優先受講申込
 - ・【風のスタジオ】【リハーサル室】【ミーティングルーム】利用料金20%割引
※人件費など直接経費は除く
 - ・スポーツ安全保険への加入(個人会員のみ)
※法人主催事業活動中にかかる傷害保険等

賛助会員

いわてアートサポートセンターのサポーターとして支援してくださる個人・法人

- 総会議決権 なし
 - 会費など
 - 年会費
個人3,000円 / 団体6,000円
 - 期間 1年間(4月1日～翌年3月31日)
- 会員特典

 - ・当法人が発行する通信等をお届けします
 - ・自主企画公演チケット優先予約&入場料10%割引(お一人様2枚まで)
 - ・主催講座・ワークショップの優先受講申込
 - ・【風のスタジオ】【リハーサル室】【ミーティングルーム】利用料金10%割引
※人件費など直接経費は除く

特別正会員

いわてアートサポートセンターのサポーターとして支援してくださる個人・法人

- 総会議決権 あり
 - 会費など
 - 特別正会員A 100,000円
 - 特別正会員B 50,000円
 - (ともに入会金は免除)
 - 期間 1年間(4月1日～翌年3月31日)
- 施設利用料 割引対象

 - ①特別正会員A主催(所属団体含む)
 - ②特別正会員B主催(所属団体は含まないが、B会員2名以上の所属団体は可)
- 会員特典

 - ・当法人が発行する通信等をお届けします
 - ・自主企画公演チケット優先予約&入場料10%割引(お一人様2枚まで)
 - ・主催講座・ワークショップの優先受講申込
 - ・【風のスタジオ】【リハーサル室】【ミーティングルーム】利用料金20%割引
※人件費など直接経費は除く

※特別正会員Aは20年間、特別正会員Bは10年間、会員の資格を有します。
※資金は施設運営設備資金に充てられます。

